

一般社団法人日本解剖学会 2023 (令和5) 年度第6回常務理事会議事録

日時：2023 (令和5)年12月16日(土) 10:30~13:30

場所：AP新橋 (5階Lルーム)

出席者：寺田 純雄 (理事長)、仲嶋 一範、福田 孝一、大和田 祐二、尾崎 紀之 (以上、常務理事)、市村 浩一郎、大野 伸彦、竹林 浩秀 (以上、常任幹事)、中村 聡 (口腔保健協会)

欠席者：なし

I. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

- (1) 2023 (令和5)年度第5回常務理事会 (2023 (令和5)年9月16日開催) 議事録 (案)

II. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の通り報告があった。

・令和 5年 9月分

入会者 正会員 11名、学生 15名

退会者 正会員 2名、永年会員 1名

・令和 5年10月分

入会者 正会員 6名、学生 16名

退会者 正会員 2名、学生 1名、永年会員 1名

・令和 5年11月分

入会者 正会員 1名

退会者 正会員 4名、学生 2名

・逝去会員 (2名)

栗栖 浩二郎 氏 (大阪大・名誉教授/永年会員) 令和5年9月23日逝去 (満86歳)

藤本 淳 氏 (産業医大・名誉教授/永年会員) 令和5年10月23日逝去 (満87歳)

・新規就任教授 (1名)

高村 敬子 氏 (長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 肉眼解剖学分野) 令和5年10月1日就任

(2) 学会宛文書類について

資料に基づき、以下の通り到着した文書の報告があった。

通知・依頼：(公財) 内藤記念財団より「2024年度新任選考委員候補ご推薦のお願いにつきまして」他81件

書籍・定期通信 他：(公財) 日本医療機能評価機構より「NEWS LETTER 2023.9月号」他12件

(3) 2023 (令和5)年度推薦による代議員申請状況について

資料に基づき、5名の推薦があったことが報告され、理事会で審議することとした。

(4) 支部代議員会報告

資料に基づき、第69回東北・北海道支部連合学術集会代議員会 (2023年9月3日開催)、第111回関東支部学術集会代議員会 (2023年9月3日開催)、第83回中部支部学術集会代議員会 (2023年10月7日開催) での議事録の内容が報告された。

(5) 「ご遺体を用いた人体構造に関する研究および手術手技研修に関する倫理審査等の手続きに関するアンケート」

報告

資料に基づき、2023年9月1日に実施されたアンケート調査の結果が報告された。結果については、解剖学雑誌で公表されることも報告された。

(6) 若手研究者の会報告

資料に基づき、全国学術集会での子連れ参加支援、「人体解剖セミナー」（名古屋大学主催）への参加旅費支援、2024年春の学校、掲示板の運用について報告された。

(7) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) ASIについて

資料に基づき、ASIのインパクトファクター（2022年）が報告された。

(2) 解剖学雑誌・ASI発送方法について

資料に基づき、今後の発送方法をゆうメールから学術刊行物に切り替えることが報告された。

(3) 解剖学用語委員会報告：高等学校生物教育用語集作成対応について

資料に基づき、生科連・生物教育・大学入試問題検討委員会からの「高等学校の生物教育における教育用語集の作成に関わる用語調査依頼」について解剖学用語委員会で回答した内容が報告された。

(4) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 2023（令和5）年度奨励賞について

資料に基づき、4名の申請があり、賞・研究費候補者選考委員会が12月21日に開催されることが報告された。

(2) 一級ならびに二級認定技術者審査結果について

資料に基づき、一級技術者3名の試験合格、二級技術者6名の資格審査合格の判定結果が報告された。

(3) 2024(令和6)年度第129回総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、開催概要（特別講演、市民公開講座、シンポジウム、一般演題（590演題）、関連集会、スケジュール、収支案）が報告された。また、演題の抄録において「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン（令和3年度改訂版）」に則していないものが散見され、次回の全国学術集会から同ホームページでガイドラインの周知を図る必要があることも報告された。

(4) 2025(令和7)年度第130回総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、解剖学会、生理学会、薬理学会の3学会合同大会（APPW2025）として2025年3月17日（月）～19日（水）に幕張メッセで開催することが報告された。

(5) 日本医学会・日本医学会連合報告

資料に基づき、日本医学会の役員について報告があった。また、日本医学会連合から「専門医等人材育成に関わる要望書（案）」（厚労大臣、文科大臣、内閣府特命大臣へ提出予定）に関する意見聴取があり、常務理事会から回答を提出したことが報告された。

(6) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、第28回定例会議（12月19日開催、大和田常務理事出席予定）の議事次第、第27回定例会

議（3月28日開催、大和田常務理事出席）の議事内容について報告された。さらに、大学入試センターへの大学入学共通テストの作問についての要望書、日本学生支援機構の大学院向け奨学金貸与期間の延長についての要望書について学会として賛同したことなどが報告された。

(7) 日本脳科学関連学会連合報告

資料に基づき、第27回評議会（3月30日Web開催、寺田理事長・仲嶋常務理事出席）、第28回評議員会（6月29日～7月12日、メール持ち回り会議）の議事内容が報告された。

(8) 国際渉外関係について（KAA、APICA、IFAA等）

資料に基づき、第129回全国学術集会プログラムにおいて第5回日韓解剖学会国際合同シンポジウムが採択され、KAAに発表者の選任依頼をして3名の先生の推薦を頂いたこと、日本側からは大野伸彦氏（自治医科大）、横溝智雅氏（東京女子医大）、今崎剛氏（神戸大）が発表することが報告された。APICAについては、第10回APICAがニュージーランドのダニーデンで開催されたこと、次回の候補地については1月中旬までにプロポーザルを募集してアドバイザーボードの投票になる予定であるが、既に北京大学の先生が2025年8月に招致することを考えておられるという情報があることが報告された。IFAAについては、第22回は2026年にオーストラリアで開催が決まっており、2029年については、スペイン、チリ、インドいずれかになる可能性があるという情報提供がなされた。

(9) 日本外科学会CST推進委員会報告

資料に基づき、令和5年度第2回CST推進委員会（10月30日開催、大和田祐二常務理事、渡辺雅彦監事、八木沼洋行監事出席）についての報告があった。一般社団法人CST（仮）の設立が提案され、第124回日本外科学会定期学術集会（2024年4月開催）でシンポジウムが企画されていることなどが報告された。

(10) その他

特になし。

4. 会計報告

(1) 支部学術集会決算について

資料に基づき、第69回東北・北海道連合支部学術集会（9月2～3日開催）、第111回関東支部学術集会（9月3日開催）、第83回中部支部学術集会の収支決算（10月7～8日開催）について報告された。

(2) 2023（令和5）年度中間決算書について

資料に基づき、2023（令和5）年度中間決算書（1月1日～10月31日）について報告された。

(3) その他

特になし。

5. 理事長報告

(1) 篤志解剖全国連合会「会議へのオブザーバー参加依頼」について

資料に基づき、篤志解剖全国連合会・会議へのオブザーバー参加の依頼があったことが報告され、年3回の運営会議と年1回の理事会へ渉外担当常務理事あるいは解剖体委員会担当の常務理事が参加することが報告された。

(2) その他

・人体解剖に関する投稿記事について

インターネット上のYahoo知恵袋に解剖実習に関する不適切な投稿が確認された旨、本学会会員より指摘があったこと、当該投稿は12月7日には削除されて確認できない状況であることが報告された。各大学における解剖実習についての学生への注意喚起についての現状について種々の意見交換を行ったのち、日本解剖学会全会員向けに「人体

および人体標本を用いた医学・歯学の教育と研究における倫理的問題に関する提言」の周知を含めた注意喚起を行う方針が確認された。

・第56回日本医学教育学会大会合同シンポジウム開催協力依頼について
資料に基づき、第56回日本医学教育学会大会（2024年8月）における、日本医学教育学会と日本解剖学会との合同シンポジウムの提案について説明があり、解剖学会としては、今回は要望に答えることが難しい旨を回答することとなった。

III. 審議事項

1. 休会申請について

資料に基づき、1名から会員としての活動が行えないことによる休会申請があり、審議の結果、了承された。

2. 教授就任による代議員の承認について

資料に基づき、以下の1名の教授就任に伴う代議員申請が審議の結果、了承された。

高村 敬子 氏（長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 肉眼解剖学分野、2023年10月1日就任）

3. 名誉会員・永年会員の推薦について

資料に基づき、以下の2名の名誉会員の推薦、ならびに15名の永年会員の推薦について、理事会で審議することが了承された。また、現理事の永年会員対象者5名については、事務局から個別に意向を確認する方針について、理事会で審議することが了承された。

藤倉 義久 氏（大分大学、永年会員歴 2019年度）

佐藤 洋一 氏（岩手医科大学、永年会員歴 2019年度）

4. 日本解剖学会からの日本外科学会CST推進委員会委員選出について

資料に基づき、長期に委員を担当されていた渡辺雅彦氏（監事・北海道大学）の退任に伴い、木山博資氏（理事・名古屋大学）を後任の候補とする方針を理事会で審議することが了承された。

5. 2025(令和7)年度定時社員総会終結時以降のASI編集委員長について

資料に基づき、大島勇人氏（新潟大学）を2025（令和7）年度定時社員総会終結時以降のASI編集委員長とする方針を理事会で審議することが了承された。また、大島氏の後任編集委員長についても候補者に打診し、2024年1月より大島氏と同候補者を編集委員に加え、2025年4月より竹田現編集委員長および後任編集委員長の2名を副編集委員長とする方針を理事会で審議することも了承された。

6. 2025(令和7)年度以降のASI発刊契約について

資料に基づき、2025（令和7）年以降のSpringer Nature SingaporeとのASI出版契約条件について、電子版年間購読費用の無償化、冊子体年間購読費用の減額、投稿数に対するIncentive bonusの廃止、出版社からのRoyalty支払いのflat feeを止めることなどの変更について理事会で審議することが了承された。

7. 2023(令和5)年度認定技術者功労賞について

資料に基づき、申請がなかったことについて、理事会で確認することが了承された。

8. JAA-KAA国際交流協定申し合わせについて

資料に基づき、これまで明文化されていなかったJAA-KAA国際交流協定申し合わせ案が提示された。これまでの運用に基づいて作成されていたが、不明瞭な部分について海外交流委員会をまじえて議論し、先方とも調整する方針について、理事会での審議を行うことが了承された。

9. 2027(令和9)年度総会・全国学術集会開催校について

資料に基づき、2027（令和9）年度の総会・全国学術集会開催校について、岡山大学からの開催希望の届け出があり、理事会での審議を行うことが了承された。

10. 役員選出会則の一部改正について

資料に基づき、男女共同参画の観点から定めていた追加理事の理事長推薦に関する第8条の次元特別措置を令和12年度定時社員総会終結時まで延長することについて、理事会での審議を行うことが了承された。

11. SSBD (Systems Science of Biological Dynamics database) について

資料に基づき、依頼のあったパブリックなイメージングデータ・付加データの共有サイトであるSSBDの運営方針に関するアドバイザリーボードへの学会員の推薦について、議論していくことが了承された。

12. 改正電子帳簿保存法対応について

資料に基づき、国税庁のフォーマットに準じた事務処理規定を整備して対応する方針について、理事会で審議することが了承された。

13. 2024(令和6)年度事業計画案について

資料に基づき、2024年度事業計画案について理事会での審議を行うことが了承された。

14. 2024(令和6)年度仮予算書案、ならびに事務委託契約について

資料に基づき、事務委託契約および、名簿積立金、特別会計などを含む2024年度仮予算書案について理事会での審議を行うことが了承された。

15. その他

特になし。

次回常務理事会（2024(令和6)年度第1回）の日程は以下のとおりとなった。

日 時：2024(令和6)年2月3日（土）13：00～16：30

会 場：一般財団法人口腔保健協会（3階：302会議室）